

株主メモ	
事業年度	2月1日から翌年1月31日まで
定時株主総会	毎年4月
基準日	1月31日
剰余金の配当の基準日	1月31日、7月31日(中間配当を行う場合)
1単元の株式数	100株
株主名簿管理人 同事務取扱場所	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 TEL 0120-094-777(通話料無料)
公告掲載方法	電子公告によりホームページ( <a href="http://www.artner.co.jp/">http://www.artner.co.jp/</a> )に掲載いたします。ただし、事故、その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっておりますので、口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

### 『IRメール配信』サービス

Eメールアドレスをご登録いただいた方に「投資家情報」の更新、決算、ニュースリリース、その他、重要事項の最新情報を、Eメールにて配信いたします(無料)。下記URLまたはQRコードからサイトにアクセスしてご登録ください。

- URLからアクセス
- QRコードからアクセス

<http://www.artner.co.jp/ir/mail/>



当社のIRサイトが表彰を受けました!

<p>日興アイ・アール株式会社 2014年度全上場企業 ホームページ充実度ランキング</p> <p>●総合ランキング「最優秀サイト」 ●業種別ランキング「優秀サイト」(サービス業2位) ●新興市場ランキング「最優秀サイト」(2位)</p>	<p>2014 日興アイ・アール 総合ランキング</p>	<p>ゴメス・コンサルティング株式会社 Gomez IRサイト ランキング2015</p> <p>●総合ランキング「優秀企業」(銅賞)(71位) ●業種別ランキング(サービス業5位) ●新興市場ランキング(2位)</p>	<p>IRサイト 総合ランキング 銅賞 2015年4月</p> <p>IRサイトの 総合ランキング 第2位 2015年4月</p>
---	--------------------------------------	--	---

## 株式会社 アルトナー

東京本社 〒222-0033 横浜市港北区新横浜 2-5-5 住友不動産新横浜ビル5F

大阪本社 〒530-0005 大阪市北区中之島 3-2-18 住友中之島ビル2F



ウェブサイト/投資家情報のご紹介

<http://www.artner.co.jp/>

アルトナー 検索



▲トップページ



▲投資家情報 (トップページ▶投資家情報)

エンジニアインタビュー  
動画配信中!



▲<https://www.youtube.com/> より

アルトナー公式 検索

# 54 2QIR

## 株式会社 アルトナー

第54期 IRレポート【第2四半期累計期間】

2015年2月1日～2015年7月31日

証券コード: 2163

特集 先進安全自動車(ASV)分野で  
活躍する技術者たち

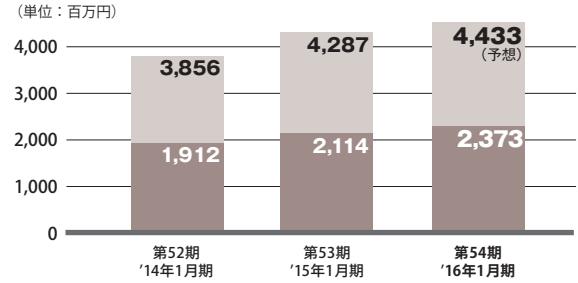
— Create the Future —

# ARTNER

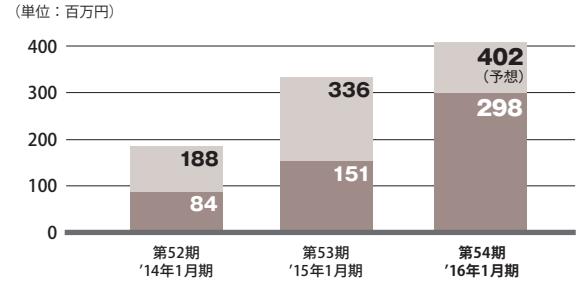
## 第54期 第2四半期 業績ハイライト

■ 通期 ■ 第2四半期累計期間 ※百万円未満を切り捨てています。

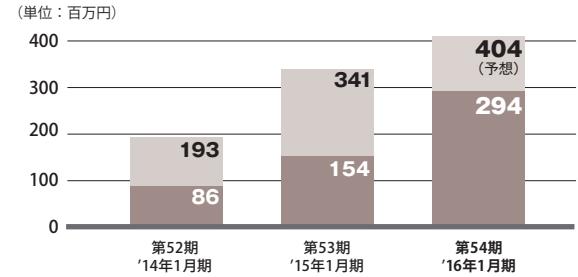
### 売上高 **2,373**百万円 **12.2%**増 (前年同期比)



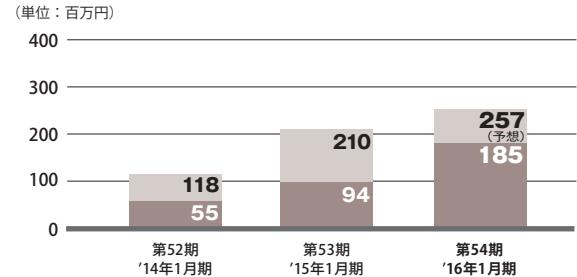
### 営業利益 **298**百万円 **97.2%**増 (前年同期比)



### 経常利益 **294**百万円 **90.5%**増 (前年同期比)

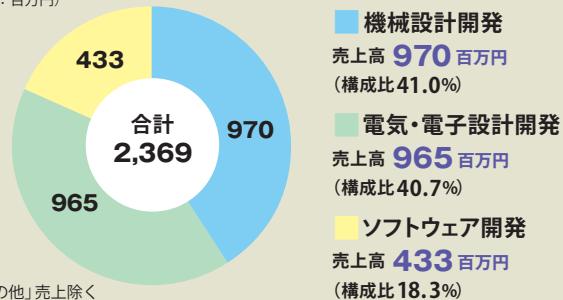


### 四半期(当期)純利益 **185**百万円 **97.1%**増 (前年同期比)



## 第54期 第2四半期 分野別売上高(※)

(単位: 百万円)



## 利益還元について

### 第54期中間配当 …………… **15**円

今期の配当は、現時点での業績予想等を考慮し、中間配当15円、期末配当15円、合計30円を予定しております。配当性向は30.9%。

# TopCommitment

## 安定的な増収・増益へ向けて 全社的に採用強化に取り組めます。

中期経営計画の進捗、第54期(2016年1月期)第2四半期累計期間の業績等について、ご説明させていただきます。

代表取締役社長

関口相三

### 中期経営計画(2016年1月期～2018年1月期)の進捗

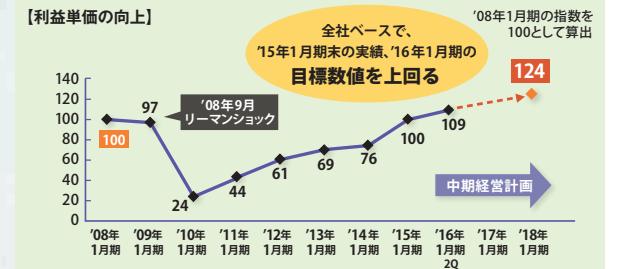
『利益単価の向上』と『技術者数の回復』を目指す新たな3ヶ年中期経営計画をスタート。

当社では第52期(2014年1月期)に、「より良い採用こそがすべての入口」を指針に事業モデルを刷新。4事業本部体制による中期経営計画をスタートし、リーマンショック前を上回る水準を目指してまいりました。第54期～56期(2016年1月期～2018年1月期)においても、この指針のもと『利益単価の向上』『技術者数の回復』を基本目標に、新たな中期経営計画を推進しております。

※「4事業本部体制」についてはP6を参照

#### 『利益単価の向上』

第54期第2四半期末においては、第53期末はもとより、第54期の年初計画も上回ることが見込まれるため懸念材料はございません。

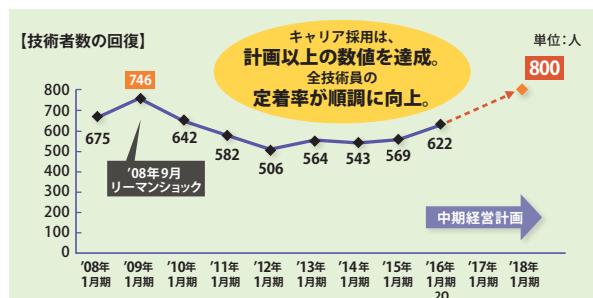


※利益単価 = 当社内で独自に管理している技術者1人当たり、1時間当たりの単価に占める利益



『技術者数の回復』

キャリア採用については、第54期 第2四半期における計画数値以上を達成。また、過去3年連続で定着率が向上しており、技術者数は、第54期の計画数値を達成する見込みです。ただし、新卒採用の選考活動スケジュールが変更されたため、第55期の2016年4月新卒入社者数は不透明な状況です。ところで昨今、他社の内定辞退を学生に強要する“オワハラ”が問題になっています。当社は、優秀な学生に、アルトナーに入社していただきたいと考えておりますが、「エンジニアサポートカンパニー」という企業理念のもと、各学生が、その特性に応じて、技術者として最も活躍できる会社を選択していただけるよう、就職アドバイスも含めて、採用活動に取り組んでおります。



中期経営計画達成のための今後の取り組み

最重要課題である「技術者数の回復」のため、EG事業本部、HA事業本部それぞれの施策を実行。

〈具体的な施策〉

**EG事業本部:**縦軸の差別化戦略のマッチング検証・精度向上  
顧客企業のニーズをハイエンド、ミドルレンジ、ローエンドという縦軸の業務レベルで差別化し、そのニーズに対して、当社が適材適所の技術者を供給できているかどうかを精査していきます。この精査により不足している人材を重点化し、積極的に採用してまいります。また、既存技術者のレベル見直しや個々のスキルアップにも、つなげてまいります。

**HA事業本部:**ハイエンド業務を基軸とした研究開発等横軸へのマーケット拡大

理工学系をベースとした機械、電気・電子、ソフトウェア領域を得意とする当社においては、材料・素材メーカー等が新領域として有効なアプローチ先になると考えられます。その新領域にマッチした人材採用を展開することにより、採用機会の拡大に努めてまいります。

第54期(2016年1月期)第2四半期累計期間の市場環境

先進安全自動車分野や精密機器分野が活性化。その他の事業領域でも技術者要請が上昇傾向。

業界を取り巻く市場環境としては、第53期(2015年1月期)に引き続き、先進安全自動車(ASV)等の新たな設計・開発需要の高まりにより、輸送用関連機器における機械設計開発分野及びソフトウェア開発分野でのニーズが堅調です。電気・電子設計開発分野においては、家電メーカー等で業界再編が進み、景気の波が底打ちしたことから、設備などインフラ関連の需要が上昇傾向に転じました。また、精密機器メーカーでの技術者要請が前年に比較して活発化しております。

第54期(2016年1月期)第2四半期累計期間の業績概要

2つの基本目標計画をほぼクリアし、前年比増収、増益を達成。

こうした市場環境を背景に、第54期(2016年1月期)第2四半期累計期間の業績は、稼働人員(技術者数×稼働率)や労働工数等のすべての売上構成要素において、前年を上回り、また、2015年4月入社の新卒技術者を当初の予定より前倒しで配属できたことから、売上高は2,373百万円(前年同期比12.2%増)、営業利益は298百万円(前年同期比97.2%増)、経常利益は294百万円(前年同期比90.5%増)、四半期純利益は185百万円(前年同期比97.1%増)と、増収・増益になりました。

第54期(2016年1月期)の業績予想

海外における下振れリスクはあるものの、第54期は引き続き堅調な業績を予想。

ギリシャの金融問題、中国の株式市場の大幅下落など、海外においては下振れリスクがあるものの、現時点で当社の取引先企業の経済環境において、その影響は散見されておりません。第54期は引き続き、年初に発表した業績予想通りに進捗しております。

労働者派遣法の改正と当社への影響

法改正による当社へのマイナス要因はなく、業界自浄作用という観点から、むしろ歓迎。

労働者派遣法の改正案が施行される動きがありますが、「無期雇用」「許可制」である当社へのマイナス要因はございません。その留意点をまとめ、顧客企業に周知する準備も始めております。業界全体では、改正案に適合する過程において、自浄作用が働くことになり、当社は歓迎する立ち位置です。

投資家の皆様へ

今後も増収・増益を維持し、安定した配当を提供。

株主・投資家の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼を申し上げます。

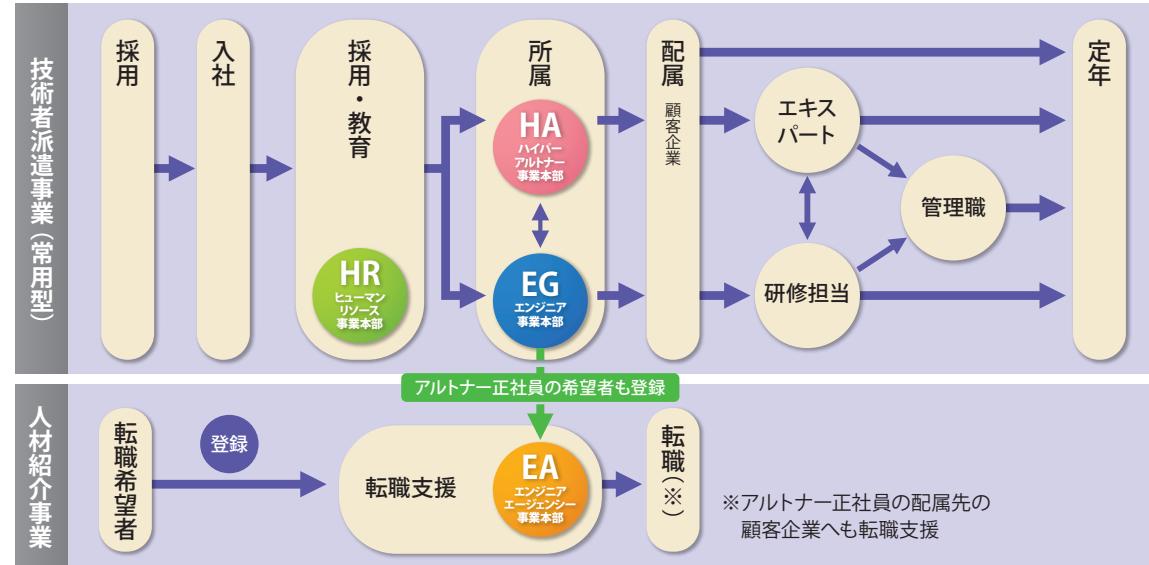
当社では株主・投資家の皆様に、安定的な配当を実施することを、経営の最重要課題と位置付けており、第54期の配当は、中間配当15円、期末配当15円、合計30円の配当を予定しております。

今後も、皆様の継続的なご理解とご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## ワンストップ体制 & ビジネスモデル

技術開発の強力なパートナーとして、多様なニーズにお応えいたします

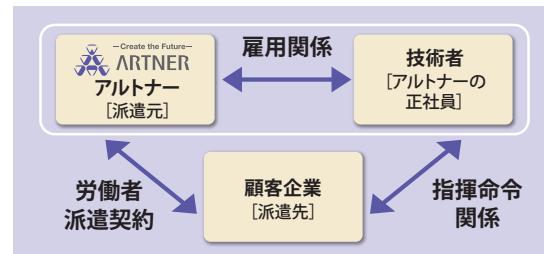
### 【4事業本部からなるワンストップ体制】



### 【ビジネスモデル】

#### 技術者派遣事業 (常用品)

技術者はアルトナー正社員のため、顧客企業と技術者は指揮命令関係下にあるのみ。雇用コストや時間の大幅な低減が可能。

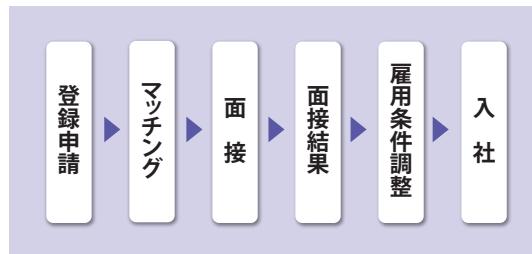


#### 請負・受託事業

顧客企業の設計開発業務そのものを受注し、開発から技術周辺、納品まで幅広い要望に対応。

#### 人材紹介事業

転職希望のアルトナー正社員または外部就職・転職希望者と顧客企業のマッチング支援サービス。双方の合意下で雇用契約が成立。



#### 紹介予定派遣事業

顧客企業の直接雇用を前提に、転職希望者が一定期間(最長6ヶ月)就労。期間終了後に、双方の合意下で直接雇用へ転換。

## 中期経営計画

(2016年1月期 ▶ 2018年1月期)

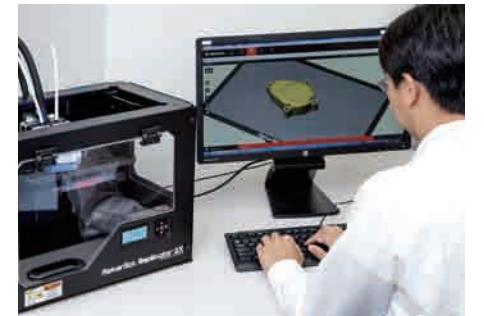
※詳細はアルトナーサイトTOP▶投資家情報▶経営方針▶中期経営計画参照

4事業本部を設置 (2013年2月より)	基本目標と進捗	今後の取り組み 最重要課題である「技術者数の回復」のための施策を実行
<ul style="list-style-type: none"> <li>HA ハイパーアルトナー事業本部 成果報酬型のエキスパートによるハイエンド業務対応</li> <li>EG エンジニア事業本部 地域限定希望者によるハイエンド～ローエンド業務対応</li> <li>EA エンジニアエージェンシー事業本部 メーカーへの人材紹介、キャリア採用、新卒採用業務対応</li> <li>HR ヒューマンリソース事業本部 教育業務対応</li> </ul>	<p><b>利益単価の向上</b></p> <p>全社ベースで、'15年1月期末の実績と'16年1月期の目標数値を上回る。</p> <p><b>技術者数の回復</b></p> <p>キャリア採用は、計画以上の数値を達成。全技術員の定着率が順調に向上。</p>	<p><b>EG</b> エンジニア事業本部 顧客企業のニーズをハイエンド、ミドルレンジ、ローエンドという縦軸の業務レベルで差別化し、当社の技術者が適材適所であるか精査。 → この精査を受け、不足している人材を重点化し、積極的に採用。</p> <p><b>HA</b> ハイパーアルトナー事業本部 機械、電気・電子、ソフトウェア領域を得意とする当社においては、材料・素材メーカー等が新領域として、有効なアプローチ先。 → この新領域にアプローチして、採用機会の拡大に努める。</p>



### インプット型からアウトプット型へ 3Dプリンタを使用した 教育を新たに導入

現在、モノづくりの現場では、2次元CADシステムから3次元CADシステムへ移行しつつあり、当社でも、これらの教育を実施してきました。今後は従来の座学を中心としたインプット型の教育に加え「2次元図面の読解力のアップ」「構想設計から製品へのイメージ力のアップ」「後工程を意識した設計力のアップ」を目的とした、3Dプリンタを使用したアウトプット型のカリキュラムを導入。これにより、技術者が製品化のためのノウハウや知識、技術などの理解や習得がしやすくなっただけでなく、自由な発想の具現化及び人間力の向上に役立つことも期待できます。また、3Dプリンタ技術は汎用性が高く、様々な業界・業種で活用されつつあることから、そのスキルを備えた当社の技術者の活躍フィールドが広がっていく可能性もあります。



3Dプリンタは、未知のモノを創案する探究心や想像力も養います。



複雑な形やテクスチャーも精巧に表現。

## 技術者インタビュー

### 注目の先進安全自動車(ASV)開発プロジェクトに携わるアルトナーの精鋭たち

日本の産業の中でも、目覚ましい成長を遂げている自動車業界。最近では、事故を未然に防ぎ、誰もが安全に車の運転ができる、先進安全自動車(ASV)の開発が盛況です。最先端技術ともいえるこの分野で、アルトナーの卓越した技術者たちも活躍しています。

#### 先進安全自動車(ASV)とは?

ASV=Advanced Safety Vehicle

先進技術を利用してドライバーの安全運転を支援するシステムを搭載した自動車。

#### 政府の取り組み

国土交通省は、ASV推進計画において、「駐車支援システム」「レーンキープアシスト」「安全運転支援システム」等のドライバーの安全運転を支援する技術の開発・実用化・普及の促進に取り組む。

※国土交通省Webサイトより

## Case 01

### パーキング時の事故を未然に防止する駐車支援システムに携わる

- 2012年4月入社
- 学生時代の専攻科目 工学部 電気情報工学科
- 所属分野 電気・電子設計開発

EG事業本部  
麻生 修司



#### 担当業務

駐車支援システムをさらに進化させ、自動ブレーキやアクセル制御により、未然に事故を防止する技術開発プロジェクトの評価計画立案やテストコースでの走行評価、報告書作成。

#### やりがい

アルトナーで他業界の品質保証に関する教育を受けたことが、非常に役立っています。市場に出る前の様々な車両に触れることができるのはもちろん、評価基準に適合させていくこの仕事には大きな達成感があります。今後も多くの経験を積み、知見を深めながら、より安全に運転できる車両を開発していくのが目標です。



#### 【駐車支援システム】

カメラや超音波ソナーを用い、死角に存在する障害物まで把握して、ドライバーに映像や警告音で知らせる

## Case 02

### ドライバーのハンドル操作を行う負担を軽減するレーンキープアシストに携わる

- 2010年4月入社
- 学生時代の専攻科目 工学部 人間情報システム工学科
- 所属分野 電気・電子設計開発

EG事業本部  
嶋崎 寛之



#### 担当業務

レーンキープアシスト等の操舵補助支援や運転負荷軽減、及び付加制御機能や操舵フィール感など、EPSの向上を実現するための制御ソフトウェア設計書作成やテスト検証。

#### やりがい

このような最先端プロジェクトに参画することはもとより、要求書を具現化するためのソフトウェアを設計し、実際の評価・検証で動作確認できた時に、大きなやりがいを感じています。今後も、先進技術に携われ、一つの機能を任せられるチャンスも豊富にあるアルトナーで、安全性をより高められる様々な設計・開発プロジェクトに参画しながら、世の中の交通事故削減に貢献していきたいです。



#### 【レーンキープアシスト】

ハンドルの操舵補助支援、車線維持機能により、ドライバーが自らハンドル操作を行う負担が軽減され、快適な走行が可能になる

## Case 03

### 通信を活用した安全運転支援システムの先行制御プログラム開発に挑む

- 2003年4月入社
- 学生時代の専攻科目 工学部 数理工学科
- 所属分野 ソフトウェア開発

HA事業本部  
エキスパート  
山下 秀典



#### 担当業務

交通情報通信及び車々間通信を活用した、安全運転支援システムの先行研究開発。顧客企業の社員と共に仕様等を検討しながら、各種プログラムの開発。

#### やりがい

実車における評価も担当しており、その結果をもとに再度仕様を見直ししながら、新技術の開発も進めていくことでヒューマンエラーや予期せぬ故障や事故を未然に防ぐことができるようになります。世の中にない技術を創造できる環境のため、やりがいも充分です。いろいろな分野の先端技術に触れられるアルトナーで、日々新しいスキルを吸収し、今後も先行開発に携わり続けたいと思います。



#### 【安全運転支援システム】

車とインフラの協調により交差点内での交通事故を削減したり、通信網を活用し、自動運転など車自体の効率的な制御ができるようになる

## 要約財務諸表

科目	第53期 前事業年度末 2015年1月31日現在	第54期 当第2四半期会計期間末 2015年7月31日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	1,627	1,644
固定資産	203	200
有形固定資産	84	83
無形固定資産	26	22
投資その他の資産	92	94
<b>資産合計</b>	<b>1,830</b>	<b>1,845</b> <small>ポイント①-A</small>
<b>負債の部</b>		
流動負債	595	442
固定負債	82	95
<b>負債合計</b>	<b>677</b>	<b>538</b> <small>ポイント①-B</small>
<b>純資産の部</b>		
株主資本	1,151	1,304
資本金	238	238
資本剰余金	168	168
利益剰余金	745	898
自己株式	△0	△0
評価・換算差額等	1	2
その他有価証券評価差額金	1	2
<b>純資産合計</b>	<b>1,153</b>	<b>1,306</b> <small>ポイント①-C</small>
<b>負債純資産合計</b>	<b>1,830</b>	<b>1,845</b>

### POINT

#### ポイント① 貸借対照表

- ① 総資産は、現預金の減少があったものの、売上債権の増加により、前事業年度末に比べ14百万円増加。
- ② 負債は、未払金、未払消費税等の減少により、前事業年度末に比べ139百万円減少。
- ③ 純資産は、利益剰余金の増加により、前事業年度末に比べ153百万円増加。

#### ポイント② 損益計算書

- ① 売上高は、主要事業である技術者派遣事業が前年同期比13.5%増となったため、前年同期比12.2%増の2,373百万円。
- ② 利益面においては、売上高の増加に加え、稼働率が高水準で推移した影響もあり、営業利益は前年同期比97.2%増の298百万円、経常利益は前年同期比90.5%増の294百万円、四半期純利益は前年同期比97.1%増の185百万円。

※百万円未満を切り捨てています。

科目	第53期 前第2四半期 累計期間 2014年2月1日から 2014年7月31日まで	第54期 当第2四半期 累計期間 2015年2月1日から 2015年7月31日まで
<b>売上高</b>	<b>2,114</b>	<b>2,373</b> <small>ポイント②-A</small>
売上原価	1,415	1,498
売上総利益	699	875
販売費及び一般管理費	548	577
<b>営業利益</b>	<b>151</b>	<b>298</b> <small>ポイント②-B</small>
営業外収益	3	5
営業外費用	0	9
<b>経常利益</b>	<b>154</b>	<b>294</b> <small>ポイント②-C</small>
税引前四半期純利益	154	294
法人税、住民税及び事業税	92	117
法人税等調整額	△32	△8
<b>四半期純利益</b>	<b>94</b>	<b>185</b> <small>ポイント②-D</small>

科目	第53期 前第2四半期 累計期間 2014年2月1日から 2014年7月31日まで	第54期 当第2四半期 累計期間 2015年2月1日から 2015年7月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	164	△61 <small>ポイント③-A</small>
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1	△0 <small>ポイント③-C</small>
財務活動によるキャッシュ・フロー	△76	△39 <small>ポイント③-D</small>
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	86	△101
現金及び現金同等物の期首残高	703	1,076
現金及び現金同等物の四半期末残高	790	974 <small>ポイント③-A</small>

### POINT

#### ポイント③ キャッシュ・フロー計算書

- ① 当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物は、前事業年度末に比べ101百万円減少。
- ② 営業活動CFは、税引前当期純利益があったものの、売上債権の増加、未払金の減少、法人税等の支払により、61百万円のマイナス。
- ③ 投資活動CFは、有形固定資産の取得による支出により0百万円のマイナス。
- ④ 財務活動CFは、配当金の支払により、39百万円のマイナス。

## 会社・株式情報 (2015年7月31日現在)

名称	株式会社アルトナー	事業内容	一般労働者派遣事業 (常用型・登録型) (許可番号 般27-020513) 有料職業紹介事業(許可番号 27-ユ-020355) 1)機械設計 2)電気・電子設計 3)ソフトウェア開発 上記分野の設計製作及び設計技術周辺業務
設立	1962年9月	社員数	701名
代表者	代表取締役社長 関口 相三		
株式	東京証券取引所JASDAQ(スタンダード) (証券コード:2163)		
資本金	2億3,828万4,320円		
本社	東京本社 〒222-0033 横浜市港北区新横浜2-5-5 住友不動産新横浜ビル5F 大阪本社 〒530-0005 大阪市北区中之島3-2-18 住友中之島ビル2F		

### 役員一覧

代表取締役社長	関口 相三
取締役 役	奥坂 一也
取締役 役	張替 朋則
取締役 役	江上 洋二
取締役 役	佐藤 宗
常勤監査役	三谷 高昭
監査役	金井 博基
監査役	福室 孝三郎

### 株式の状況

発行可能株式総数	9,000,000 株
発行済株式の総数	2,656,980 株
株主数	1,032人

### 大株主の状況

氏名または名称	所有株式数(株)	割合(%)
株式会社 関口興業社	1,155,000	43.47
アルトナー従業員持株会	325,912	12.26
大阪中小企業投資育成株式会社	120,000	4.51
田中 幸夫	74,000	2.78
奥坂 一也	68,720	2.58
張替 朋則	66,560	2.50
日本証券金融株式会社	54,900	2.06
横田 成昭	36,000	1.35
松井証券株式会社	35,400	1.33
アルトナー役員持株会	29,800	1.12
合計	1,966,292	74.00

### 株式の分布状況

